

愛知県立芸術大学の増改築について

愛知県立芸術大学(1965~74)では、増改築の計画が進行しています。左の図は現状図(輪郭線部分は元の設計、淡色塗りは中間増築部分、斜線は最近建ったもの)。右の図は計画案(マスタープランではない)です。計画の進行に伴って音楽学部のレッスン棟は今年8月に日建設計(株)に設計が発注されました。また現在、すでに工事が完了しようとしているのが、元の教員宿舎を壊したところに建てている新学生寮です。中間増築部分が増築されたのは1986~91年。最近建ったのがプレハブ棟と言われている「音楽の博士棟と修士棟(内容は練習室らしい)」と、「美術の博士棟(内容は不明)」と、「芸術学科棟」です。芸術学科は新しく出来た科なのでこのプレハブ棟と、教職員宿舎(既存)の両方を使っています。

現在、学生数の増加や科の新設による増築の必要性、修理を要するところ、耐震改修、設備の充実などもたしかに生じています。

恵まれた自然環境の中に、それらをどのようにして融合させてゆくかというのが問題です。私達、吉村順三記念ギャラリーでは、新しく大きな「ハコもの」に作り変えることよりも、現状を維持して改修することを望んでいます。設計した個人の問題ではありません。建物と、それをとりまく環境が作りだした歴史的な文化の問題です。

「残すことは作ること」なのです。

吉村順三記念ギャラリー—2009年11月吉日

皆さん。用意したハガキに意見を書き、署名してギャラリーのポストに入れる、又は切手を貼ってギャラリー事務局あてに投函してください。(署名の用紙もあります) まとめて愛知県知事に提出したいと思いますのでご協力ください。

